

働き方改革推進事業中間報告会(留萌・空知・石狩・後志)のまとめ

各教育局で行われている推進校等の中間報告会から特徴的な取組等を紹介します。

留萌

地域社会との連携 (小平町立小平小の取組)

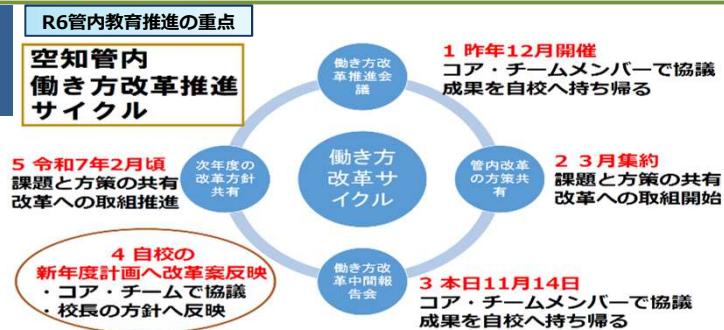
コミュニティ・スクール及び地域学校協働本部と連携し、学校支援ボランティアを募集。授業の手伝いや子ども達の見守り等を依頼し、4月～11月まで延べ41名の地域の皆様に様々な協力をいただきました。



空知

各校のコアチーム等メンバーによる 次年度取組へ向けた意見交換

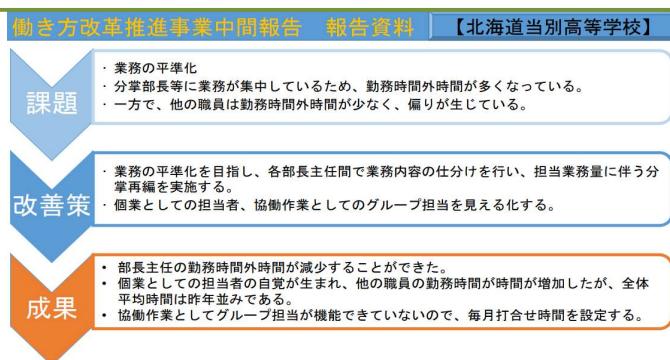
空知教育局では、今年度、管内全公立学校の働き方改革の課題と方策を共有し、改革に取り組んでいます。中間報告会では、小グループで「成果と課題」、「今後の取組」について協議、次年度へ向けた働き方改革のヒントを各校へ持ち帰りました。



石狩

業務平準化に向けた分掌再編 (当別高等学校の取組)

分掌部長等に集中していた業務の平準化を目指し、各部長主任間で業務の仕分けを行い、担当業務量に伴う分掌再編を実施。グループでの協働化を進めるとともに、担当者の自覚が生まれる等の効果がありました。



後志

出席簿のアップデート (生成AI活用) (小樽市立稲穂小の取組)

事務職員が学校運営に参画し様々な業務改善を行っており、VBA（自動化）でシステム化していた出欠確認等を生成AIを活用しアップデートして、欠席児童を学級毎に一覧で集計できるようにすることで、業務改善につなげました。

